



2024年1月24日(水)
あいち航空ミュージアム
【指定管理者】
名古屋空港ビルディング株式会社
電話番号：0568-29-0283
(ミュージアム運営部直通)

あかつかさとし
**航空写真家赤塚聡氏及び航空雑誌「航空ファン」と連携した
第6回あいち航空ミュージアムフォトコンテストを開催します**

あいち航空ミュージアムでは、航空機の仕組みを楽しく学び、愛知県の航空機産業を知っていただけるよう、様々なイベントを多数企画しています。

この度、航空写真家として著名な赤塚聡氏及び航空雑誌「航空ファン」と連携した第6回フォトコンテストや作品展示、トークショー等を下記のとおり開催します。

御家族、御友人もお誘い合わせの上、是非お越しく下さい。

記

1 フォトコンテスト及び作品展示

(1) フォトコンテスト

航空機に関するフォトコンテストを開催します。

募集期間：2024年2月10日(土)から3月10日(日)午後5時まで

募集部門：A 民間機部門

(航空会社で使用している旅客機や個人所有の航空機)

B 官用機部門

(自衛隊・警察・消防・防災・ドクターヘリ等の任務についている航空機や他国の官用機等)

応募条件：1人1点。2021年1月以降に撮影した未発表作品に限ります。

応募方法：募集開始日に開設されるあいち航空ミュージアム Web ページの「第6回あいち航空ミュージアムフォトコンテスト」エントリーフォームに必要な事項を御記入の上、写真デジタルデータを添付して御応募ください。

※写真データは、2,516×3,544ピクセル900万画素相当以上(推奨)、拡張子はJPEGに限ります。

あいち航空ミュージアム Web ページ <https://aichi-mof.com/>

入賞：最優秀賞(全応募作品から1点)、部門賞(各部門、グランプリ賞1点、準グランプリ賞1点、計4点)、審査員特別賞(各審査員賞1点、計4点)、佳作(25点程度)

審査員：航空写真家 赤塚聡氏

「航空ファン」編集長 じんのゆきひさ 神野幸久氏

ブルーインパルス元飛行班長 よしだしんや 吉田信也氏

あいち航空ミュージアム館長 すずきしんじ 鈴木真二

結果発表：2024年4月中旬に入賞作品を決定し、あいち航空ミュージアム Web ページ (<https://aichi-mof.com/>) で発表します（賞品は受賞者宛てに順次発送）。

【参考】第5回フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞「Arrival」
（撮影者：豊谷慎吾様）



部門優秀賞「心躍る DEMO FLIGHT」
（撮影者：塚原 裕之様）

(2) 作品展示

フォトコンテストの入賞作品を展示します。

展示期間：2024年4月27日（土）から6月23日（日）まで

※期間中、閉館日は除く

展示場所：1階 航空メッセプラザ

展示作品：写真展示 35点程度

※入賞作品を除く応募作品はモニターにより展示予定

※フォトコンテストの応募方法、作品展示の詳細は、あいち航空ミュージアムの Web ページ (<https://aichi-mof.com/>) を御覧ください。

2 フォトコンテスト審査員による審査講評及びトークショー

フォトコンテストの審査員である航空写真家の赤塚聡氏及び「航空ファン」編集長の神野幸久氏による審査講評や、航空機写真の撮影のコツなどに関するトークショーを開催します。

日時：2024年4月29日（月・祝） 午後1時30分から午後3時まで

場所：1階 フライイングボックス前ステージ

着席スペースには椅子40脚を用意します（立ち見も可）。

内容：入賞作品の講評、航空機撮影のコツなど

3 その他

イベントの参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

審査員略歴等（※敬称略）

【赤塚聡】

1966年岐阜県生まれ。航空自衛隊に勤務後、カメラマンに転向。前職の経験を生かし、主として官用機の撮影を得意分野とし、同乗による空撮も手がける。現在、航空専門誌などに作品を発表する傍ら、各種カレンダーの制作、撮影等を担当する。



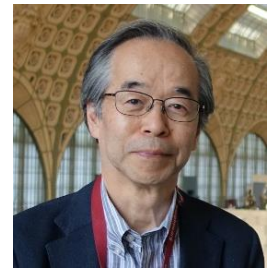
【吉田信也】

1960年熊本県生まれ。1980年に航空自衛隊航空学生第36期生として入隊。第303飛行隊及び第302飛行隊において、F-4EJ戦闘機操縦者として勤務した。2004年には宮城県松島基地の第11飛行隊（ブルーインパルス）飛行班長兼1番機編隊長として務めた。



【鈴木真二】

1953年岐阜県生まれ。1979年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。豊田中央研究所から、東京大学助教授を経て、大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授へ。2019年から東京大学未来ビジョン研究センター特任教授並びに名誉教授を務める。2017年11月30日の開館当初からあいち航空ミュージアム館長を務める。



【航空雑誌「航空ファン」】

1952年11月に創刊した日本の月刊航空専門誌。写真や模型の愛好家に加え、官民の航空関連業界で働くプロフェッショナルにも読者が多い。特に有名カメラマンによる、世界の最新航空機の迫力あるフォトリポートは定評があり、海外にも多くの読者を持っている。現在、神野幸久氏が編集長を務めている。



4 感染防止対策について

あいち航空ミュージアムでは、消毒・除菌作業の実施など、様々な感染防止対策を実施しています。

5 イベントに関するお問合せ先

あいち航空ミュージアム

電話 0568-39-0283

<参考：あいち航空ミュージアムについて>

○施設概要

場 所：西春日井郡豊山町大字豊場（県営名古屋空港内）

設置日：2017年11月30日

設置者：愛知県

指定管理者：名古屋空港ビルディング株式会社

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（最終入館は午後4時30分まで）

休館日：火曜日（祝日、または振替休日の場合は翌日）

2月5日（月）、7日（水）、8日（木）、9日（金）、14日（水）

※開館時間および休館日については4月以降変更となる場合があるので、WEBサイトで御確認ください。



[あいち航空ミュージアム外観]

○入館料 ※未就学児は無料

区分	一般	高校・大学生	小・中学生
個人※ ¹	800円 (通常は1,000円)	640円 (通常は800円)	400円 (通常は500円)
団体(20人以上)	800円	640円	400円
年間パスポート	4,500円	3,500円	2,000円

※1 個人料金は、2024年3月31日まで団体料金相当額（2割引）となります。
(2023年3月13日愛知県発表済み)

○その他

- ・日にち、条件により貸切利用も可能です。
- ・あいち航空ミュージアムには専用の駐車場がありませんので、公共交通機関を御利用ください。

○Web ページ

<https://aichi-mof.com/>